

令和５年度第２回江別市消防委員会 会議結果

開催日時 令和６年３月２１日（木） １４時から１５時１０分

開催場所 江別市野幌代々木町８０番地８ 江別市消防本部庁舎３階 多目的ホール

参集委員（計７名）

工藤委員長、及川副委員長、加藤委員、上岡委員、春日委員、丸山委員、土屋委員

説明者 内山消防長、小椋次長、鈴木署長、檜森総務課長、森田警防課長、菅野予防課長、
濱崎管理課長、佐野消防１課長、北川消防２課長、吉泉江別出張所長、山中野幌出張所長、
佐藤大麻出張所長

会議要旨（以下のとおり）

14:00 開会

審議事項（１）江別市消防１０か年アクションプラン２０３３について、総務課長が資料に基づいて概要説明。

質疑等は以下のとおり

加藤委員 消防庁舎の改修にある具体的な取組で、各公共施設等適正管理推進の取組にある『ユニバーサルデザインに対応した施設改修』とは具体的に何か。

総務課長 現在の施設は性別を考慮した施設になっているが、年齢や性別にとらわれることなく多様な人が利用しやすい施設に改修することを考えており、具体的にはトイレや洗面所などがある。

及川副委員長 消防庁舎の改修にある具体的な取組で、ゼロカーボンシティの取組の具体例として空調設備、換気設備等の改修がある。要望になるが、昨年８月にこの会場で行った消防委員会において、非常に暑く体力的にも厳しかった。火災や救助などに出動する職員が同じ施設で待機しており、現場で１００％の能力を発揮していただくためにも、この施設の空調設備の改修を早急に行ったほうが良い。

総務課長 空調設備については、改修が必要な設備として課題認識しており、いただいた意見を踏まえ検討していきたい。

春日委員 救急の出動件数が令和３年度から加速度的に増加している原因がわかれば教えてほしい。

警防課長 昨年の猛暑による熱中症と思われる出動は例年の３倍にあたる８６人で、増加の要因として多少影響があった。増加傾向の分析を進めているが、増加の大きい要因は高齢化であると考えている。

土屋委員 女性の活躍推進について、活躍の場を設けて、広めてきた認識はあるが、今後の取組について何か考えがあれば補足していただきたい。

総務課長 女性消防職員は現在５名。今後も政府が掲げる目標に合わせて女性吏員の採用などをしていきたい。また、女性職員専用の施設改修などを行って、女性職員が配置できる場所を増やしていきたい。

丸山委員 消防全般の課題として、救急件数の増加と消防団員の減少がある中で、今後、課題

解消に向けた工夫をしていくという10年間のアクションプランであると認識している。

消防団員の減少については、高齢化や人材不足、市民理解を求めるPRの手法、人員を有効に活用できる環境づくりなどを考えていく必要がある。団員の依頼についても、社会的な活動として企業協力を得やすくすることも必要と考えており、今後の取組みの参考意見として取扱い願いたい。

委員長

提案された『江別市消防10か年アクションプラン2033』については、原案のとおり結審する。

報告事項（1）江別市議会関連の報告について

ア 江別市火災予防条例の一部改正について 予防課長より資料に沿った説明。

質疑等は以下のとおり

春日委員 避難上支障がない部分について、実情に合わせて規制対象外になるという解釈で間違いないか。

予防課長 地上構造部で一部でも木造であれば規制していたが、法令の改正により、条例上も防火上及び避難上支障がない耐火建築物は規制から除くこととした。

イ 令和6年度予算（案）の概要について 総務課長より概要説明。

質疑等は以下のとおり

春日委員 説明いただいた予算には含まれていないかもしれませんが、職場環境の改善という視点から、空調設備の改修について要望をいたしたい。

委員長 消防職員の働きやすい職場環境にしていくため、空調設備の改修を進めていただきたい。

総務課長 空調設備の計画的な改修、設置に向けて検討していきたい。

ウ 令和6年第1回定例会 一般質問について

総務課長より消防団について（質問者：野村尚志議員）の質問及び答弁の概要説明

警防課長より救急活動について（質問者：芳賀理己議員）の質問及び答弁の概要説明

予防課長より火災に対する取組について（質問者：石川麻美議員）の質問及び答弁の概要説明

質疑なし。

報告事項（2）令和5年江別市災害・救急概況について 警防課長より資料詳細説明。

質疑等は以下のとおり

加藤委員 新生児や乳幼児の搬送人数が増加しているが、考えられる要因があれば教えてほしい。また、育児をする親にもどういう状況で救急車が利用されているかの情報が必要と思う。

警防課長 新生児・乳幼児について、増加した考えられる要因として新型コロナウイルスが5類に移行した関係もあり、医療機関に受診しやすくなったことや、インフルエンザの増加も影響していると思われる。

また、救急車の適正利用については、広く周知を図っていきたいと考えている。

土屋委員 救急件数の急病の増加についても、新生児・乳幼児と同じことが要因としているのか。

警防課長 急病の増加についても、同じ傾向が影響していると考えている。

及川副委員長 救急件数が前年より 652 件増加しているが、車両や人員は足りているのか、枯渇しているのか確認したい。また、件数の増加によって救急活動が困難な状況が起こり得ているのか教えていただきたい。

警防課長 救急車両については、現在 4 台を保有しており、令和 6 年度には予備車として 1 台の増車を予定している。

出動要請に対し、現場到着時間が遅れるような状況になってきており、今後の対策をしていきたい。

報告事項（3）令和 5 年度消防委員会活動報告について 総務課長より説明

質疑なし

報告事項（4）令和 6 年度消防関係年間行事（上半期）について 総務課長より説明

質疑なし

15:10 閉会